既知の問題

Astra Control Center

NetApp
November 21, 2023

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/astra-control-center-2204/release-notes/known-issues-ads.html on November 21, 2023. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

既知の問題 1
アプリケーションをリストアすると、 PV のサイズが元の PV よりも大きくなります 1
特定のバージョンの PostgreSQL を使用すると、アプリケーションクローンが失敗します 1
サービスアカウントレベルの OCP セキュリティコンテキスト制約（ SCC ）を使用すると、アプリケーションのクローンが失敗する 1
ストレージクラスを設定してアプリケーションを導入すると、アプリケーションのクローンが失敗する 2
デフォルトの kubeconfig ファイルに複数のコンテキストが含まれている場合、Astra Control Center を使用したクラスタの管理が失敗します 2
Astra Trident がオフラインの場合、 Internal Service Error （ 500 ）によりアプリケーションデータ管理処理が失敗する 2
Snapshot コントローラバージョン 4.2.0 では、 Snapshot が失敗することがあります 2
詳細については、こちらをご覧ください 2
Astra Data Store およびこの Astra Control Center リリースでの既知の問題 3

既知の問題

既知の問題は、このリリースの製品を正常に使用できない可能性のある問題を特定します。

現在のリリースに影響する既知の問題は次のとおりです。

アプリケーション

- アプリケーションをリストアすると、 PV のサイズが元の PV よりも大きくなります
- 特定のバージョンの PostgreSQL を使用すると、アプリケーションクローンが失敗します
- サービスアカウントレベルの OCP セキュリティコンテキスト制約（ SCC ）を使用すると、アプリケーションのクローンが失敗する
- [ストレージクラスを設定してアプリケーションを導入すると、アプリケーションのクローンが失敗する]

クラスタ

- デフォルトの kubeconfig ファイルに複数のコンテキストが含まれている場合、 Astra Control Center を使用したクラスタの管理が失敗します

その他の問題

- Astra Trident がオフラインの場合、 Internal Service Error （ 500 ）によりアプリケーションデータ管理処理が失敗する
- Snapshot コントローラバージョン 4.2.0 では、 Snapshot が失敗することがあります

アプリケーションをリストアすると、 PV のサイズが元の PV よりも大きくなります

バックアップの作成後に永続ボリュームのサイズを変更し、そのバックアップからリストアすると、永続ボリュームのサイズはバックアップのサイズではなく PV の新しいサイズと一致します。

特定のバージョンの PostgreSQL を使用すると、アプリケーションクローンが失敗します

Bitnami PostgreSQL 11.5.0 チャートを使用すると、同じクラスタ内のアプリケーションクローンは一貫して失敗します。正常にクローニングするには、以前のバージョンのグラフを使用してください。

サービスアカウントレベルの OCP セキュリティコンテキスト制約（ SCC ）を使用すると、アプリケーションのクローンが失敗する

OpenShift Container Platform クラスタのネームスペース内のサービスアカウントレベルで元のセキュリティコンテキストの制約が設定されていると、アプリケーションクローンが失敗する場合があります。アプリケーションのクローンが失敗すると、 Astra Control Center の管理対象アプリケーション領域にステータス「 Removed 」と表示されます。を参照してください "技術情報アーティクル" を参照してください。

ストレージクラスを設定してアプリケーションを導入すると、アプリケーションのクローンが失敗する

ストレージクラスを明示的に設定してアプリケーションをデプロイした後 (たとえば、「 helm install…-set global.storageClass=NetApp-cvs-perf-extreme 」) 、アプリケーションのクローンを作成しようとすると、ターゲットクラスタに最初に指定されたストレージクラスが必要になります。ストレージクラスを明示的に設定したアプリケーションを、同じストレージクラスを含まないクラスタにクローニングすると、失敗します。このシナリオではリカバリ手順はありません。

デフォルトの **kubeconfig** ファイルに複数のコンテキストが含まれている場合、 **Astra Control Center** を使用したクラスタの管理が失敗します

複数のクラスタおよびコンテキストで kubeconfig を使用することはできません。を参照してください "技術情報アーティクル" を参照してください。

Astra Trident がオフラインの場合、 **Internal Service Error** （ **500** ）によりアプリケーションデータ管理処理が失敗する

アプリケーションクラスタの Astra Trident がオフラインになり（オンラインに戻った）、 500 件の内部サービスエラーが発生した場合に、アプリケーションデータ管理を試みると、アプリケーションクラスタ内のすべての Kubernetes ノードを再起動して機能を復旧します。

Snapshot コントローラバージョン **4.2.0** では、 **Snapshot** が失敗することがあります

Kubernetes 1.20 または 1.21 で Kubernetes snapshot-controller （別名 external-snapshotter ）バージョン 4.2.0 を使用すると、 Snapshot が失敗することがあります。これを防ぐには、別のを使用してください "サポートされているバージョン" バージョン 4.2.1 などの外部 Snapshot データ。 Kubernetes バージョン 1.20 または 1.21 で使用。

1. POST 呼び出しを実行して更新された kubeconfig ファイルを「 /credentials 」エンドポイントに追加し、応答本文から割り当てられた「 id 」を取得します。
2. 適切なクラスタ ID を使用して '/clusters' エンドポイントから PUT 呼び出しを実行し 'credentialId' を前の手順の id' 値に設定します

これらの手順を完了すると、クラスタに関連付けられたクレデンシャルが更新され、クラスタは再接続して、その状態を「 available 」に更新する必要があります。

詳細については、こちらをご覧ください

- "Astra Data Store の既知の問題と、この Astra Control Center リリース"
- "既知の制限"

Astra Data Store およびこの Astra Control Center リリースでの既知の問題

既知の問題は、このリリースの製品を正常に使用できない可能性のある問題を特定します。

"これらの既知の問題を参照してください" これは、Astra Control Centerの最新リリースでAstraデータストアの管理に影響を与える可能性があります。

詳細については、こちらをご覧ください

- "既知の問題"
- "既知の制限"

著作権に関する情報

Copyright © 2023 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。